

決算報告

令和4年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。

前年度の歳出は、一般会計約47億円、特別会計約28億円、水道事業会計約3億円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約78億円で様々なまちづくりを進めました。

一般会計歳入

歳入決算総額は52億2,011万円で、前年度と比べて5,804万円、1.1%の減少となりました。

減少となった主な要因は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫補助金の収入が大幅に減少したことによるものです。町税は、13億2,934万円で、前年度と比べて1,332万円、1.0%の増加となりました。固定資産税や軽自動車税等が増加したことによるものです。

国庫支出金は、7億1,036万円で、前年度と比べて2億3,618万円、25.0%の減少となりました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の縮減のほか、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金などの減少によるものです。

町債は、臨時財政対策債の減少のほか、令和3年度に町道1-7号線道路改良事業の借入れを行ったため、1億6,341万円、74.6%の減少となりました。

一般会計歳出

歳出決算総額は、46億8,660万円で、前年度と比べて6,729万円、1.4%の減少となりました。

減少となった主な要因は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金や子育て世帯等臨時特別支援事業補助金の

減少に伴い、民生費が減少したことによるものです。

なお、歳入総額52億2,011万円と歳出総額46億8,660万円の差額5億3,351万円は令和5年度へ繰り越しました。

目的別の主な事業

総務費
○交通手段の確保などを目的にタクシー・バス利用券の枚数を拡充し、地域交通対策事業を行いました。

○地域おこし協力隊による、地域力の強化と情報発信に努めました。また、令和4年度は森林整備のため1名増員し、2名となりました。

○町の魅力を発信するため、プロモーション動画を作成しました。

○第26回参議院議員通常選挙を実施しました。

民生費
○越生町障がい者計画などに基つき、障がい者等の自立と社会参加の促進に取り組みました。

た。

○自然豊かな花木墓苑を基本とした町営樹木葬墓苑「五大尊花木墓苑」を運営・管理しました。

農林水産業費
○梅・ゆずなどの特産物を周知するとともに、地産地消を推進するための事業を実施しました。

○上谷農村公園の遊具を更新しました。

○農道1号線の舗装修繕工事を実施しました。

○埼玉県の補助金及び森林環境譲与税を活用して、水源地域森づくり、里山・平地林の整備を実施しました。

○国の補助金を活用して、肥料等の物価高騰の影響を受けている農家等に給付金を支給しました。

衛生費
○新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチンの接種を行いました。また、消毒液等の購入や自宅療養配食サービスを行いました。

○住民の健康管理を支援する健康増進事業や子育て世代包括支援センターを中心に妊娠前から子育て期までの支援事業などを実施しました。

○近隣3町村と「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明し、二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す取組みを開始しまし

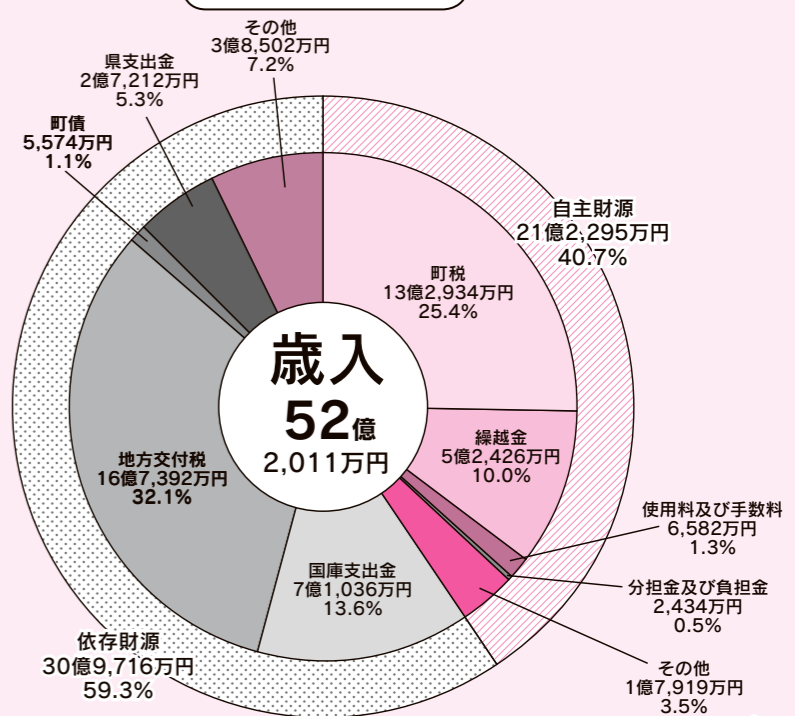
○観光協会が実施する観光PR事業等を支援しました。

○観光施設の整備と維持管理

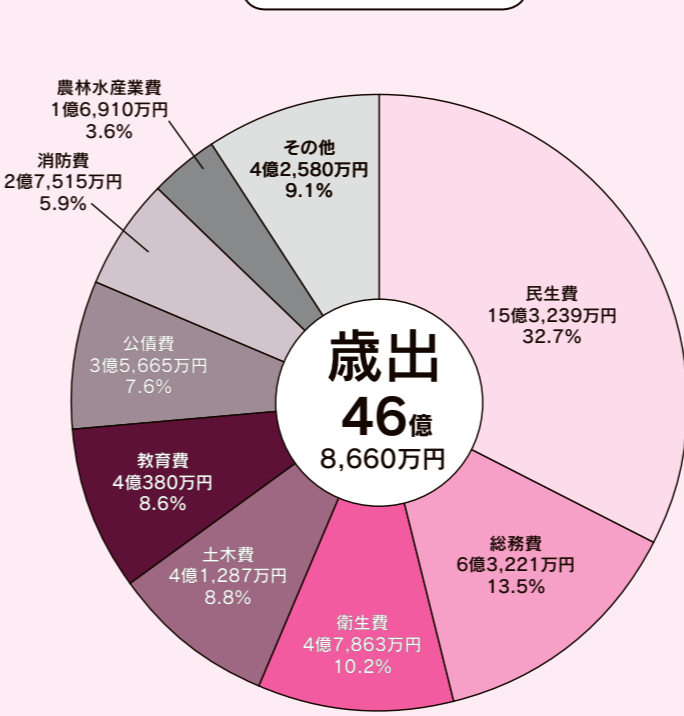
○燃料高騰の影響を受けている運送事業者に対して給付金を支給しました。

○観光協会が実施する観光PR事業等を支援しました。

歳入の状況

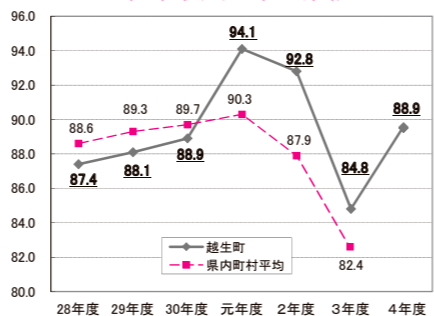


歳出の状況



不足比率は、いずれの指標も早期(経営)健全化基準を下回り、健全性を示しています。しかし、他の指標である経常収支比率は88.9%で依然として高い数値にあり、財政の硬直化が懸念されます。また、1,000に近いほど財政に余裕があることを示す財政力指数は、0.480と低水準にあり、厳しい財政状況が続いています。

経常収支比率の推移



会計別決算

	歳入	歳出	差引額
総額	85億2,755万円	78億2,779万円	6億9,976万円
一般会計	52億2,011万円	46億8,660万円	5億3,351万円
特別会計	29億8,806万円	27億9,592万円	1億9,214万円
公平委員会特別会計	29万円	14万円	15万円
農業集落排水事業特別会計	2,939万円	2,605万円	334万円
国民健康保険特別会計	14億9,318万円	14億5,881万円	3,437万円
介護保険事業特別会計	12億8,619万円	11億3,563万円	1億5,056万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,901万円	1億7,529万円	372万円
水道事業会計	収益的収支 3億1,748万円 資本的収支 190万円	2億9,283万円 5,244万円	2,465万円 ▲5,054万円

健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
越生町	-	-	4.9	2.5
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

資金不足比率

特別会計名称	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	-	20.0
水道事業会計	-	20.0

水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額5,054万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。